

5

Annual Report 2011

卷末資料

院内行事

医療機器紹介

患者会・家族会活動実績

学会発表実績

院内行事

	行事
4月	入社式
5月	ふれあい健康フェスタ
6月	病棟避難訓練
8月	病院こども探検隊
9月	合同慰霊祭、大規模災害訓練

	行事
10月	完全停電
12月	クリスマスコンサート、忘年会
1月	年頭挨拶
2月	病棟避難訓練
3月	地震避難訓練

入社式

4月1日(金)に、平成23年度社会医療法人財団白十字会入社式が佐世保中央病院の5階講義室において行われました。

今年は佐世保地区全体で59名、佐世保中央病院には35名の方が新しく白十字会職員の仲間入りをしました。



病院こども探検隊

8月4日(木)に「病院こども探検隊」を開催し、小学4～6年生の26名の子どもたちが、「内視鏡手術体験」や「電気メス体験」を始めとした様々な体験をしました。

病院こども探検隊は地域や職員の子どもたちに病院の仕事を知ってもらうために開催しているもので、今回で3回目となります。様々な体験の中でも子どもたちに一番人気なのが、「内視鏡手術体験」と「電気メス体験」です。医師の指導を受けながら、本物の内視鏡手術のトレーニングキットを用いて行いますが、プロが「うまいね。」と感心するほどの上達ぶりでした。



合同慰霊祭

9月10日(土)アルカスSASEBOにおいて、平成23年度社会医療法人財団白十字会グループ合同慰霊祭を行いました。2010年6月から2011年5月までの1年間で557名の方がお亡くなりになり、150名ものご遺族の方にご参列いただきました。

忘年会

12月20日(火)・21日(水)の2日間に渡り、アイトワで白十字会グループの大忘年会が開催され、600名を超える職員が参加しました。

今回、初の試みとして「テーブル対抗クイズ大会」を行いました。「『佐世保中央病院』は漢字で書くと何画でしょうか?」などの身近でありながらも考えたことがないような問題や、白十字会の歴史に関わる難問・奇問など多岐にわたる問題が出題され、どのテーブルも正解を導き出そうと一生懸命でした。

毎年恒例の富くじ抽選会では液晶テレビなどの豪華賞品が用意されました。テーブル単位で当たる賞品も用意され、東北地方応援賞品である産地直送の真っ赤なりんごは、参加者のほぼ半数が持ち帰っていました。

余興は例年を上回る数のエンターテインメントがあり、演奏やダンスの余興では出演者と会場が一体となり、1年間の疲れを吹き飛ばすほどの熱気で大盛り上がりとなりました。

医療機器紹介

一般撮影

CR・DRシステム

X線画像情報がイメージング・プレートという板に記録され、それにレーザー光を当てることによりX線画像情報を読み取ることができます。また、フラットパネルディテクタという検出器により、直接X線データを収集し画像化する機器も利用しています。

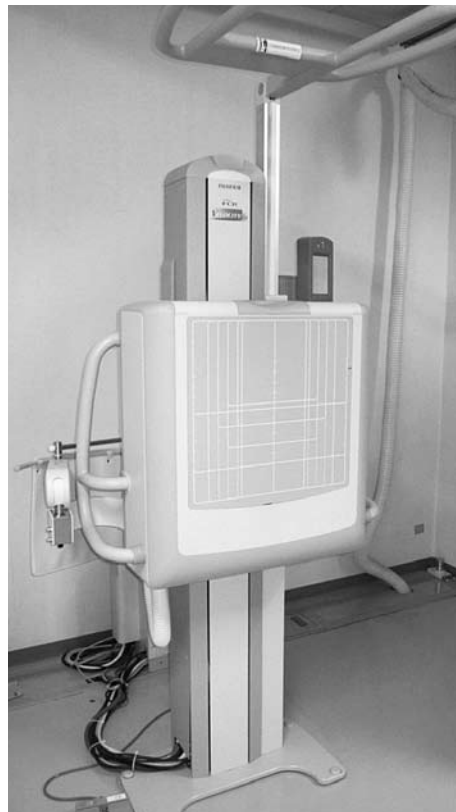
当院では、CR・DRシステムを導入し、高画質なデジタル画像を提供しています。

また、以前のようにフィルムは使用せず、画像をデータとして一元管理するPACSというシステムで画像運用しています。

以前は、暗い部屋の中でフィルムをつめたり、現像作業を行っていました。現在は、撮影した板を[図1]の装置に入れるだけ、あるいは、フラットパネルディテクタであればX線スイッチを押すだけで、画像ができあがりモニターに映し出されます。



図 1 Fujifilm Profect CS



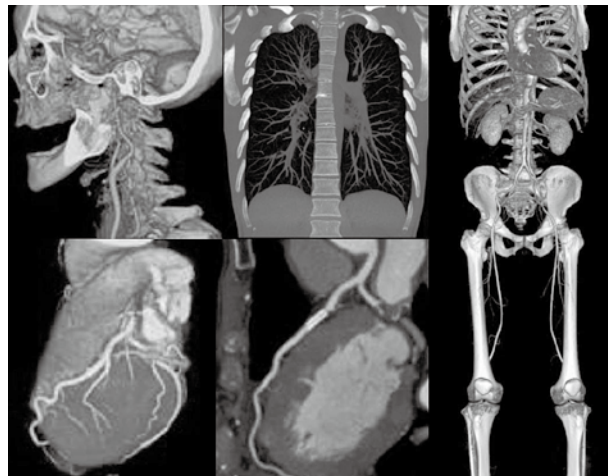
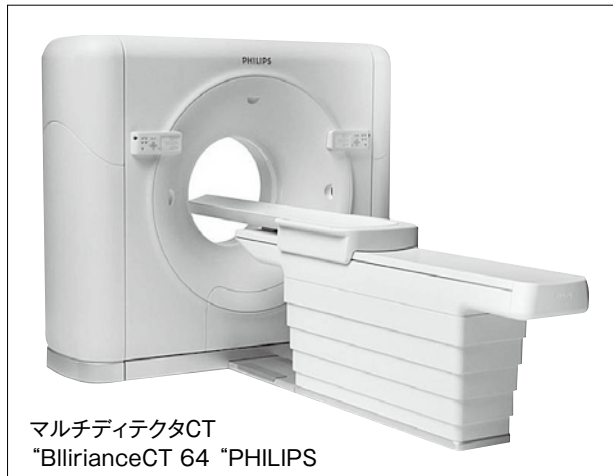
Fuji film Velocity U



マルチディテクタCT装置

マルチディテクタCT

マルチディテクタCTとは、1回の撮影で複数の画像を撮影することができる装置のことです。以前の装置では、1度に1枚しか撮影できなかったものが、当院の新しいマルチディテクタCTでは1回に64枚もの撮影を行うことができます。これにより検査時間が短縮し、検査中の息止めも短縮しますので患者様への負担が軽くなります。



また、従来のCT装置では、身体の横断像（図1）しか撮影できませんでしたが、マルチディテクタCT装置では、薄くスライスした画像を重ね合わせる（図2）ことで、横断像だけでなくいろんな方向から画像を作り出すこともできますし、骨や血管の3D画像（図3）も作ることができます。

薄いスライスを何枚も重ね合わせることにより立体的な画像を作り出すことができます。

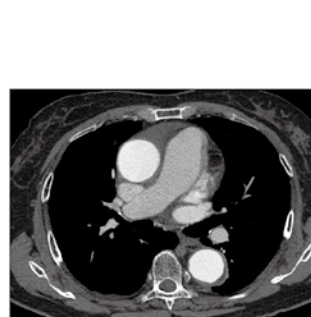


図1. 身体の横断像
従来のCT装置では
1回に1枚のみの画像

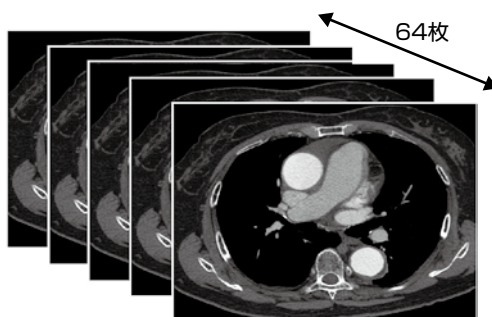


図2. マルチディテクタCTの画像
当院のマルチディテクタCTでは、
1回に64枚の撮影が出来ます



図3. 3D画像
胸腹部大動脈撮影
撮影時間約7秒



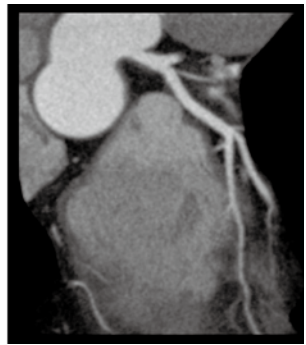
冠状動脈CT

当院のマルチディテクタCT装置最大の特徴は、心臓の冠状動脈(心臓に栄養を送る血管)の撮影を約7秒で行えることです。常に動いている心臓をCT装置で撮影することは従来の装置では不可能でしたが、撮影時間が短いことと、心電図と同期して撮影できるようになったことで、マルチディテクタCTで血管の状態を観察することができるようになりました。

また、心臓の画像も3D画像やCPR(血管の内側や外側を観察する表示方法)でいろいろな方向から観察する事ができます。

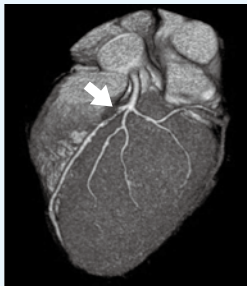


左冠状動脈
3D画像

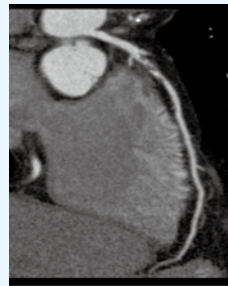


左冠状動脈 CPR画像
造影剤
腕の静脈より 約50ml注入
撮影時間 約7秒

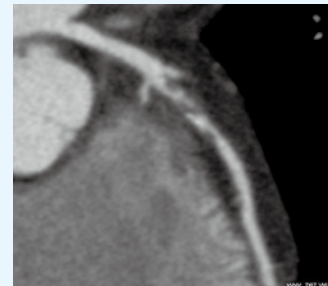
症例：左冠状動脈の狭窄



左冠状動脈 3D画像



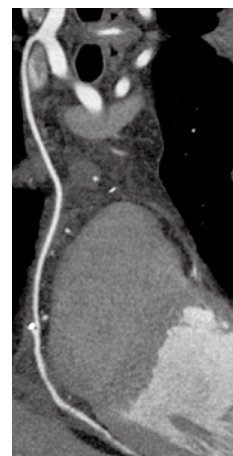
左冠状動脈 CPR画像



3D画像では左冠状動脈の血管が狭くなっているのがわかります。CPR画像で観察すると造影剤の通りが悪くなり血管が狭くなっているのがわかります。

造影剤 約55ml 腕の静脈より注入 撮影時間 約7秒

心臓冠状動脈バイパス術後



心臓血管手術後のバイパス血管も撮影することができます。

造影剤 約70ml 腕の静脈より注入 撮影時間 約13秒

1.5テスラMRI装置

MRI装置(磁気共鳴画像診断装置)では、磁気と電波を使って画像を作ります。この使用する磁気や電波は無害で身体に感じるものではありません。

またX線による被ばくは全くなく、患者様の身体の位置を変えなくてもあらゆる角度から身体の中の様子を観察することができます。検査を受ける際は、円筒の中に身体が入っていきます。

当院のMRI装置は、オランダフィリップス社製の最新式の装置です。従来は撮影に1時間近くかかっていた検査も約20分に短縮でき、かつ診断価値の高い撮影を行うことができました。



NT-INTERA Rel 11 1.5T
PHILIPS

骨密度測定装置

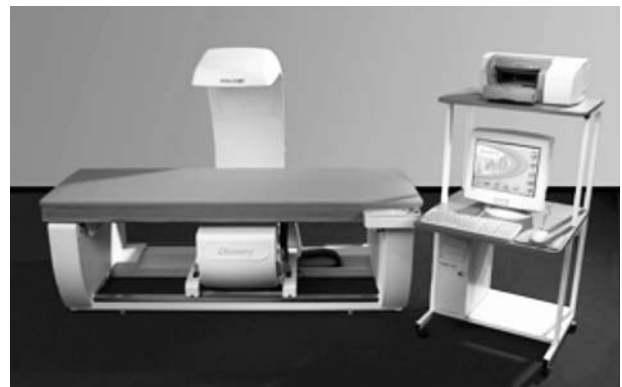
当院の骨密度測定装置は、世界でも高い信頼度を誇る米国ホロジック社のものです。正確、スピーディーかつ安全に骨粗鬆症の診断を行うことができます。骨塩量おもにカルシウムを指標として骨密度を求めます。

当院では、DEXA法(Dual energy X-ray absorptiometry)と呼ばれるX線を使用した方法で通常腰椎を測定します。腰椎は骨代謝が盛んな海綿骨の情報を多く含んでいて、腕で測定を行うよりも骨量の変化を顕著にとらえることができます。測定には以下の方法があります。

- ①X線フィルムを用いたMD法
- ②超音波の減衰、速度の変化を利用した超音波法
- ③CTスキャンを用いたQCT法
- ④X線を用いたDEXA法(Dual energy X-ray absorptiometry)

特徴

1. 極めて少ないX線を利用しているので安心です。
2. 着衣のまま仰向けにベッド上で横になるだけで、痛みもなく簡単に測定できます。(着衣にボタンや金属類が付いており、検査に支障が出る場合は、お着替えをしていただく場合がございます。)
3. とてもスピーディーに検査できます。
検査時間は約5～10分です。*測定する部位により異なります。
4. 検査データは保存されますので、定期的な検査で、正確な診断が行えます。



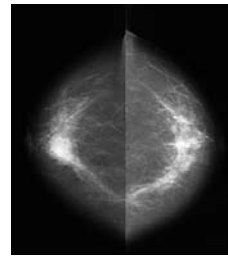
HOLOGIC, INC. (米国/ホロジック社)
骨密度装置Discovery

乳房X線撮影(マンモグラフィー)装置

乳房は比較的柔らかい組織でできているために、通常のX線撮影とは違う専用の撮影装置やフィルムを使って、診療放射線技師が撮影します。一般的に、比較するため両方の乳房を方向を変えて撮影を行います。



島津社製 SEPIO STAGE
(日本乳癌検診学会ガイドライン適合)



上下方向



左右方向

検査時間と検査方法

検査時間はおよそ10分くらいです。追加撮影がある場合、もう少し長くなることがあります。写真を撮るとき、強く押さえる必要があります。乳房の病気には、10分の1mmというとても小さい病変だけが早期発見の手がかりとなることもあり、乳房をなるべく均等に圧迫して、良い写真を撮ることが必要なためです。また、押さえることによって被ばくの低減にもなります。

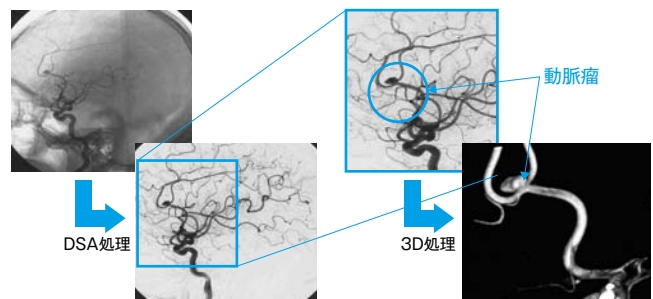
血管造影装置

当院の血管造影装置は、最新式の全身用血管造影装置で、今までの平面な撮影法にくわえ立体的に撮影する機能を持ち、いろいろな方向から病変部分を観察することができます。この立体画像を用いることにより、手術や血管内治療の際に非常に役立ちます。



INTEGRIS ALLURA
PHILIPS

脳血管造影



平面の画像をこのように立体的にすることにより病変部(動脈瘤など)の位置および形態を明確に観察することができます。また、この立体画像は様々な角度から観察することができます。

心臓カテーテル検査装置

心臓カテーテル検査は動脈または、静脈からカテーテルと呼ばれるストロー状の細い管を挿入します。心臓内の圧力を計測したり、造影剤を注入して心臓の動きや心臓自身を栄養する冠状動脈と呼ばれる細い血管を動画で観察することができます。平成22年7月に東芝メディカルシステムズ製の最新式(フラットパネル)装置が設置されました。



最新式フラットパネル搭載血管造影装置
Celive-I
東芝メディカルシステムズ
平成22年7月設置

核医学検査(RI : Radio Isotope)

核医学検査

核医学検査とは、「放射性同位元素を用いる検査」という意味で使われています。

RIというのは放射性同位元素(=ラジオアイソトープ)の略で、簡単に言うと「放射線を出す物質」のことです。

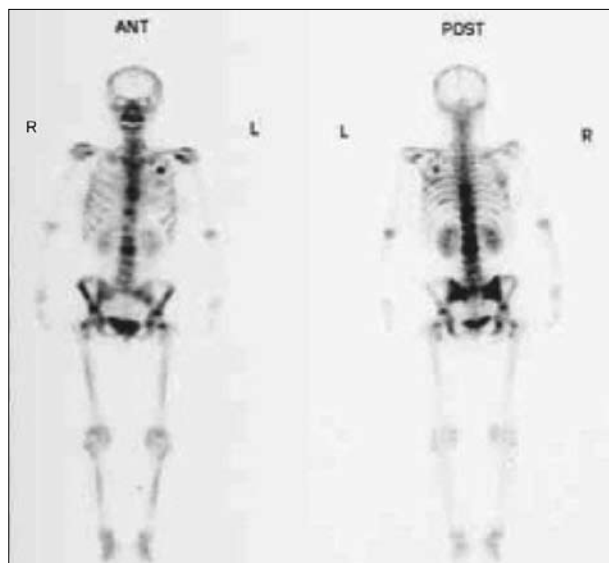


RC-2600i 日立メディコ

放射性医薬品

「ガンマ線という放射線を放出する少量のくすり」を言います。多くの場合は、静脈から注射し、外部から見えない病気の場所や臓器の機能の異常を放射線という信号を出して知らせてくれます。

注射された薬は、一度は目的の臓器や器官に集積しますが、早いものでは数時間、遅くても数日で信号(放射線)が弱くなって、やがて消滅してしまいます。



骨シンチグラフィ

放射線治療装置

放射線治療は、外照射と小線源治療の二つに分けられますが、当院では外照射のみの治療を行っています。

外照射

外照射はマイクロトロンという装置を用いて、体の外から体内の病巣部に放射線を照射します。通常は1日1回、月曜日から金曜日まで週5回の治療を数週間続けて行います。治療期間は、病巣の種類、大きさ、場所、治療の目的などによって異なります。7～8週間行うこともあれば、手術中の照射のように1回のみの場合もあります。病巣に対して正確に放射線をあてるために、専用のCT装置や治療計画用装置を用いて、最適な照射範囲を決定します。

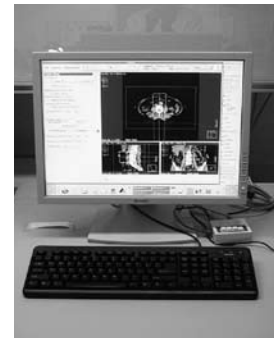


マイクロトロン 放射線治療装置
日立メディコ HTM-2201



治療計画用CT装置
(日立製)

診断用のCT装置とは違い、患者様が寝る台が硬くなっています。これは治療を行う時と同じ状態でCT撮影を行う必要があるからです。



当院の治療計画装置
ピナクル(日立製)

治療計画用CTで撮影した画像を読み込ませ、最適な照射範囲を立体的な画像を用いて決定します。

透視装置

2008年3月にFPD(フラットパネルディテクタ)型DR透視装置(島津製作所)を導入しました。

透視装置は、バリウムを使った胃透視や大腸の検査など様々な検査で以前より使用されています。最新式の装置はデジタル式といい、X線で透過された胃や腸を直接電子信号に変換し画像を作ることができます。

当院では、電子カルテシステムにより患者様の情報を電子化し保存しています。同様に、胃透視や腸の検査などの画像もデジタルカメラで撮った画像と同じように電子化し保存していますので、いつまでもきれいな画像で診断することができます。

多くの施設で使用されている従来型の透視装置と新しく導入したFPD型とを比較してみると ①画質がきれい、②歪みがない、③胃・腸からのガスの影響が少ない、④被ばく線量が少ない、といった点が優れております。



フラットパネル式透視装置
SONIALVISION safireII
島津製作所 2008年3月設置

患者会・家族会活動実績

日本糖尿病協会長崎支部「佐世保みなと会」

佐世保みなと会とは、昭和43年、日本糖尿病協会の長崎県支部佐世保分会として、糖尿病の患者様を中心に佐世保中央病院で発足された患者会です。糖尿病に関する講習会、運動療法の実技・実習に関する講習会、専門誌の配布など様々なことを計画・実施しています。

活動内容

①患者会の開催

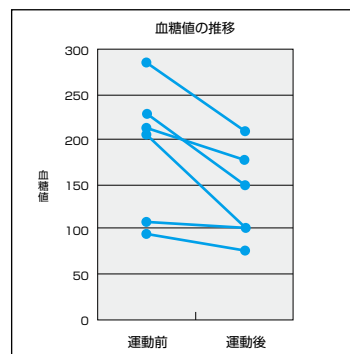
毎年11月に開催しています。医師、看護師、理学療法士、栄養士、臨床検査技師などの参加のもと、総会、講演会、懇親会、グループワークなどを開催しています。



②運動療法講座

「青空いきいきウォーキング」の開催

毎年5月と10月に理学療法士を中心に開催しています。看護師や医師も同行しながら、ウォーキングや予防体操などを行っています。ただ歩くだけでなく、毎回糖尿病に関するショートレクチャーを用意しています。参加者は、運動の前後で血圧・血糖・体重などの測定を行い、変化を一目で見ることができ、運動の効果が楽しみながらわかります。



過去に参加された方々の血糖値の推移です。このように運動によって血糖値が下がってます。



③1型糖尿病の会「1型サークル」の開催

1型糖尿病の患者様を対象とした会です。2011年4月より講演会、懇親会などを開催しています。



④月刊誌「さかえ」の配布

糖尿病療養の最新情報、食事療法を活用したクッキングレシピ、療養生活のちょっとしたコツ、患者様の体験談、医療スタッフの声などが掲載された糖尿病専門雑誌です。入会すると毎月読むことができます。糖尿病や予防に関する最新の正しい知識を取得することができます。

リウマチ友の会

2000年7月8日、リウマチ全般に関して活発かつ自由な討論が出来る場をつくり、病気に関する理解を深めることを目的に『リウマチ友の会』が発足しました。患者様が中心に運営する会で、現在の会員数はおよそ70名です。患者同士が親睦を図り、様々な医療情報や生活の工夫を交換できるように、そして医療従事者と患者様が一体となり治療・ケアを行っていきける礎となるように活動しています。

活動内容

- ①リウマチ友の会開催(4月・7月・10月の第3土曜日の午後)
- ②総会の開催(収支報告、運営委員選出など。リウマチ友の会のうち年1回)

医師講話

- 1.リウマチの最新の治療について
- 2.リウマチ治療と地域連携
- 3.ステロイド剤と抗リウマチ薬の副作用について

活動実績

	5月	7月	10月	合計
会員	40	34	45	119
同伴者	6	3	4	13
見学者・その他	3	4	1	8
合計	49	41	50	140



学会発表実績

部署	職種	氏名	学会名	演題名
3階西病棟	看護師	吉田 百合子	第10回長崎緩和ケアセミナー	「法人内認定緩和支援ナース」活動報告
ICU・透析	看護師	山口 奈巳子	第12回日本クリニカルパス学会 学術集会	開心術パス見直しを行って ～コメディカルとの連携の重要性について～
ICU・透析	看護師	池田 まどか	第12回日本クリニカルパス学会 学術集会	開心術パス見直しを行って ～コメディカルとの連携の重要性について～
手術室・救急外来・ 中材	看護師	坂口 裕美	第15回日本救急医学会 九州地方会	救急外来における家族への対応の見直し ～パンフレットの改訂を試みて～
緩和支援看護課	看護師	福田 富滋余	第16回日本緩和医療学会 学術大会	緩和ケア普及・啓発のための 街頭キャンペーンを実施して ～長崎県北緩和ケア認定看護師会活動報告～
3階西病棟	看護師	桃田 美智	第16回日本緩和医療学会 学術大会	地域共同学習会から見えた 地域支援病院としての課題 ～エンゼルケア講習会参加者アンケートより～
ICU・透析	看護師	谷口 拓司	第17回日本看護診断学会 学術大会	ICUにおけるNNNの現状と 今後の課題
ICU・透析	看護師	久野 万里	第17回日本看護診断学会 学術大会	ICUにおけるNNNの現状と 今後の課題
4階西病棟	看護師	大田 たまき	第18回日本心血管インターベンション 治療学会九州沖縄地方会	地域連携バス運用における 看護師の意識調査と今後の課題
4階西病棟	看護師	山村 緑	第18回日本心血管インターベンション 治療学会九州沖縄地方会	地域連携バス運用における 看護師の意識調査と今後の課題
3階西病棟	看護師	大谷 弥生	第27回九州ストーマ リハビリテーション研究会	ストーマケアの統一化を目指した 指導経過表の作成
3階西病棟	看護師	坂田 恵子	第27回九州ストーマ リハビリテーション研究会	ストーマケアの統一化を目指した 指導経過表の作成
感染制御部	看護師	奥田 聖子	第27回日本環境感染学会総会	酸素吸入加温加湿装置用水の リターンチューブの交換頻度の見直し ～黒色変化事例を経験して～
4階東病棟・消化器 内視鏡センター	看護師	丸田 利香	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	安全な検査を目指して ～内視鏡検査・治療前チェックシートの作成～
4階東病棟・消化器 内視鏡センター	看護師	山口 由美子	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	安全な検査を目指して ～内視鏡検査・治療前チェックシートの作成～
4階東病棟・消化器 内視鏡センター	看護師	小川 梨沙	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	患者・家族への看護計画提示に対する 看護師の意識変化 ～患者・家族とともに考える看護を実践して～
4階東病棟・消化器 内視鏡センター	看護師	橋本 妹子	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	患者・家族への看護計画提示に対する 看護師の意識変化 ～患者・家族とともに考える看護を実践して～
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	中山 美智也	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	業務改善に向けての取り組み ～看護師の意識調査と 看護必要度との関連を比較して～
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	高村 舞	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	業務改善に向けての取り組み ～業務の合理化・効率化を目指して～
4階西病棟	看護師	荒木 祐子	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	内服管理方法の統一を図る ～病棟独自の内服管理 アセスメントシート作成をめざして～



部 署	職 種	氏 名	学 会 名	演 題 名
4階西病棟	看護師	永田 晶子	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	内服管理方法の統一を図る ～病棟独自の内服管理 アセスメントシート作成をめざして～
3階東病棟	看護師	中村 恵美	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	フローチャートの有用性の検証 ～離床センサー選択基準のフローチャートの導入～
3階東病棟	看護師	福島 千帆	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	フローチャートの有用性の検証 ～離床センサー選択基準のフローチャートの導入～
3階西病棟	看護師	山口 梓	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	包帯交換時の手指消毒の徹底 ～マニュアル作成と、自己他者チェックを行って～
3階西病棟	看護師	青郷 貴絵	第42回日本看護学会－看護総合 －学術集会	包帯交換時の手指消毒の徹底 ～マニュアル作成と、自己他者チェックを行って～
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	菅沼 徳恵	レミケードナースセミナー	レミケード治療の経験から学んだこと
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	野口 早由里	第13回日本医療マネジメント学会 学術総会	当院における 在宅酸素療法導入バスの運用
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	尾形 美鈴	第13回日本医療マネジメント学会 学術総会	当院における 非結核性抗酸菌症バスの運用
3階西病棟	看護師	原田 里香	第19回日本乳癌学会学術総会	当院におけるチーム医療の 現状と今後の展望 ～乳腺看護外来を開設して～
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	植木 友理子	第42回九州リウマチ学会	隠れシェーグレン症候群の 実態調査と治療の取り組み(第2報)
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	菅沼 徳恵	第42回九州リウマチ学会	ステロイド性骨粗鬆症に関連した 実態調査及び治療までの フローチャート作成
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	松瀬 敦子	第42回九州リウマチ学会	トシリズマブ治療計画表の見直しと 患者指導の評価
ICU・透析	看護師	浦川 昂大	第42回日本看護学会 －成人看護I・II－学術集会	ICUへの鎮静スケール導入 ～既存のスケール使用における問題点の抽出～ (第1報)
ICU・透析	看護師	松瀬 祐子	第42回日本看護学会 －成人看護I・II－学術集会	ICUへの鎮静スケール導入 ～共通理解のための言葉の追記～ (第2報)
手術室・救急外来・ 中材	看護師	坂本 洋子	第42回日本看護学会 －成人看護I・II－学術集会	患者が望む術前訪問を目指して ～術前パンフレットの評価と術前訪問方法の問題点～
手術室・救急外来・ 中材	看護師	元田 幸江	第42回日本看護学会 －成人看護I・II－学術集会	患者が望む術前訪問を目指して ～術前パンフレットの評価と術前訪問方法の問題点～
5階西病棟/ DM・RAセンター	看護師	松山 典子	第54回日本糖尿病学会 年次学術集会	糖尿病教育入院後3年が経過した 患者の血糖コントロールと 療養行動に対する自己評価について
薬剤部	薬剤師	辻 泰弘	医療薬学フォーラム2011	細菌性髄膜炎症例におけるリネゾリドの 髄液および血中動態の検討
薬剤部	薬剤師	山口 亜由美	第10回長崎県病院薬剤師会 がんと薬物療法研修	温熱化学療法を用いた肺がん治療への 薬剤師の関わり
薬剤部	薬剤師	曾根本 恵美	第21回日本医療薬学会	膠原病患者における シクロスポリン後発品の 有効性・安全性に関する検討
薬剤部	薬剤師	辻 泰弘	第2回MRSAフォーラム	MRSA肺炎と腎機能障害を併発した 症例におけるリネゾリドの有害事象と 血中動態の相関解析
薬剤部	薬剤師	辻 泰弘	第73回九州山口薬学大会	細菌性髄膜炎症例における linezolidの髄液および血中動態の検討

部 署	職 種	氏 名	学 会 名	演 題 名
薬剤部	薬剤師	村上 優美	第21回日本医療薬学会	CGMSの導入が糖尿病患者の意識改善に有用であった1症例
地域医療連携センター	MSW	本 康剛	第15回日本救急医学会九州地方会	救急医療における医療ソーシャルワークの現状と課題～急性期病院と地域医療の架け橋として～
地域医療連携センター	MSW	本 康剛	第13回日本医療マネジメント学会学術総会	脳卒中患者への退院支援の実績～急性期から回復期、維持期への地域医療連携～
リハビリテーション部	言語聴覚士	宮下 佐江子	第23回(社)長崎県理学療法士会学会 inSASEBO	知的障害に加え脳梗塞左片麻痺を呈し歩行能力向上を目指した一症例
リハビリテーション部	言語聴覚士	山本 修平	第23回(社)長崎県理学療法士会学会 inSASEBO	当院脳梗塞患者における糖尿病の有無がリハビリテーションの成績に与える影響
リハビリテーション部	作業療法士	朝里 良太	第19回長崎県作業療法学会	関節リウマチ患者の介助指導DVD作成～アンケート結果をもとにして～
リハビリテーション部	作業療法士	小出 将志	第19回長崎県作業療法学会	生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業～調査研究事業における実施報告～
リハビリテーション部	作業療法士	嶋田 史子	第19回長崎県作業療法学会	認知症領域での作業療法士の役割～認知症疾患医療センターと認知症通所介護施設に関わる立場から～
リハビリテーション部	作業療法士	森 勝彦	第45回日本作業療法学会	作業療法部門の生涯教育制度に対する関わり
リハビリテーション部	作業療法士	山口 可奈子	日本関節運動学的アプローチ(AKA)医学会理学・作業療法士会第12回学術集会	ダートフィッシュを活用したAKA博田法技術学習の紹介
リハビリテーション部	理学療法士	小川 弘孝	第46回日本理学療法学会学術大会	急性期病院における電子カルテリハシステムの現状と課題～MIRF(民間病院を中心とした医療情報連携フォーラム)リハビリテーションワーキング結果報告～
リハビリテーション部	理学療法士	森 幸一	第5回九州心臓リハビリテーション研究会	当院における心臓リハビリテーションの変遷
リハビリテーション部	理学療法士	中島 由史	第13回日本医療マネジメント学会学術総会	病院職員に対するコアトレーニング指導
リハビリテーション部	理学療法士	石丸 寛人	第16回日本緩和医療学会学術大会	佐世保中央病院における緩和リハビリテーション対象患者の自宅復帰に関する現状調査
放射線技術部	放射線技師	馬場 隆治	第6回九州放射線医療技術学術大会	T1W3DTSE法を用いた脳疾患における描出能の検討
放射線技術部	放射線技師	森 健大	長崎県放射線技師会県北地区研修会	アデノイドについて
放射線技術部	放射線技師	横田 かおり	長崎県放射線技師会県北地区研修会	マンモグラフィ施設画像評価認定取得までの取り組み
放射線技術部	放射線技師	井上 康太	長崎県放射線技師会県北地区研修会	可搬媒体に関するアンケート結果報告
放射線技術部	放射線技師	山口 龍成	長崎CT・MR研究会	MRI専門技術者認定取得に向けての取り組み
臨床工学部	臨床工学技士	浦瀬 憲一	第44回九州人工透析研究会総会	クリーンカブラの洗浄化について
臨床工学部	臨床工学技士	前田 博司	第4回長崎県臨床工学会	佐世保中央病院呼吸療法サポートチーム～チーム活動の報告～
臨床工学部	臨床工学技士	上原 かをる	第56回(社)日本透析医学会学術集会・総会	透析液変更にともなう洗浄についての検討



部 署	職 種	氏 名	学 会 名	演 題 名
臨床検査技術部	臨床検査技師	小島 早紀子	(社)長崎県臨床検査技師会学会	健診センターにおける肺年齢導入について
臨床検査技術部	臨床検査技師	安東 摩利子	(社)長崎県臨床検査技師会学会	ナノピアKL-6エーザイ院内検査導入の有用性
臨床検査技術部	臨床検査技師	川口 亮	第5回長崎県臨床微生物研究会	当院におけるMRSA感染症の治療について
臨床検査技術部	臨床検査技師	川田 麻世	第60回日本医学検査学会	外来採血患者へのアンケート実施と改善点について
臨床検査技術部	臨床検査技師	川田 麻世	第46回九州地区医学検査学会	PT試薬の比較検討
臨床検査技術部	臨床検査技師	浦山 みどり	第46回九州地区医学検査学会	採血から検査結果報告までの時間調査～混雑日・お待たせしない日～
臨床検査技術部	臨床検査技師	谷口 真由美	第60回日本医学検査学会	トシリズマブ投与関節リウマチ患者に対するSAAの有用性について
臨床検査技術部	臨床検査技師	片淵 直	平成23年長崎県細胞検査士研修会	乳腺細胞診について
臨床検査技術部	臨床検査技師	丸田 秀夫 谷口 真由美	第3回熊本検査医学オータムセミナー	当院でのリウマチ診療における臨床検査技師の役割
栄養管理部	管理栄養士	貴島 左知子	第54回日本糖尿病学会 年次学術集会	2型糖尿病患者の食行動の特性、および食事療法への重要度と自信度
健康管理部	保健師	田口 久美子	第1回日本保健師学術集会	A病院健康増進センターにおける保健指導の客観的評価からの課題
健康管理部	保健師	田口 久美子	第13回九州予防医学研究会学術大会	ミニカンファレンスの効果と課題
健康管理部	保健師	深井 絵美	第13回九州予防医学研究会学術大会	特定保健指導の現状と今後の展望
健康管理部	事務	竹谷 美智子	第13回九州予防医学研究会学術大会	当施設における接遇向上への取り組み
健康管理部	事務	山下 由佳	第13回九州予防医学研究会学術大会	健診予約と事前案内についての受診者満足度調査
システム開発室	システムエンジニア	坂本 一馬	第15回日本医療情報学会 春季学術大会	医療情報システムの使用状況の定量的調査の報告
システム開発室	システムエンジニア	竹谷 貴海	第31回医療情報学連合大会	社会医療法人財団白十字会におけるBCPの取り組み
医療情報課	事務	岩佐 裕子	第13回日本医療マネジメント学会 学術総会	ERCPクリティカルパスの経済的評価
経営企画統括本部	薬剤師	濱邊 秋芳	第13回日本医療マネジメント学会 学術総会	患者別疾患別原価計算システムによる疾患別コスト分析